

山科区誕生30周年記念

第32回 山科義士まつり 写真コンクール入賞者

山科義士祭
実行委員会
会長賞



「威風堂々」
余田功さん

山科区長賞



「連判状を渡す子供義士」
谷泰雄さん

大石神社賞



「毘沙門堂 出発」
西田伊久男さん

京都新聞社賞



「勝ちどき」
深井賢二さん

入選



「ねえー 大石どの」
辻本昭さん



「まつりの女性たち」
中山藤晴さん



「モミジ葉踏んで」
寺島正英さん



「謹みて玉串奉奠（瑞泉院）」
奥田光男さん



「和みの時」
深井征子さん

第8回社団法人山科経済同友会杯 少年サッカー大会

P K戦で大塚チームは惜しくも2位
優勝は太秦チーム

青少年の健全育成を目的に開催している少年サッカー大会が、今年は山科区誕生30周年記念大会として、3月11日と12日の2日間にわたり勸修寺グラウンドで行われました。

小学生による山科・醍醐地域の8チームと招待された地域外の市内4チームで戦われ、多くの応援者が見守る中、熱戦が繰り広げられました。



決勝戦は大塚チームと右京区の太秦チームで行われ、0対0のまま決着がつかずP K戦となり、7対8で優勝は太秦チームとなりました。

優勝チームには、例年の優勝カップに加え、ふれあい“やましな”実行委員会から優勝トロフィーが贈られました。



山科区誕生30周年記念
トロフィー授与

学区探訪 中学生編

驚きMAX マックス



山科本願寺跡に行く

今回は西野学区の「山科本願寺跡」について、山科の歴史を知る会会長山本正明さんに音羽中学校の浅本麻友さん、竹谷綾乃さん、藪下侑美さんが取材しました。
(今春、3人は卒業されました)

☆山科中央公園の秘密☆

山科本願寺は、今から500年以上も前に造られた歴史あるものだ。元は一辺800mから1kmの敷地内にある、お寺を中心とした町のことを指していた。しかし、戦国時代に1日で滅ぼされてから復興されず、今では中央に新幹線が通されたことにより、遺跡全体4kmの4.5%程度の土塁しか残っていない。

右から山本さん、竹谷さん、浅本さん、藪下さん



その土塁は山科中央公園に9mもの高さの小さな山として残っている。昔は周りに建物がなかったため、ここから山科の町全体を見渡すことができたらしい。せっかく古くからある貴重な遺跡がどんどん壊されていくのはなんだか悲しく思う。しかし、この遺跡の一部が音羽学区の幼稚園の庭になっていることにも驚きだ。

山本先生は「自分の住んでいる地域のことを新たに知ることができるということは大きな喜びであるし、身近な所であるからこそ、すぐに調べに行けるという利点もある」とおっしゃっていた。私たちも色々な地域を調べていて、今まで何も感じていなかったものが伝統のあるものだったと知ることが多いので、この思いはなんとなく分かる気がした。今回は身近にある歴史だからこそ、肌で感じれることに驚きMAXだった。



山科本願寺跡土塁(山科中央公園)